きらら通信　冬期号

放課後等デイサービス　二月二十八日発行

《発行元》

藤岡市障害者
支援センターきらら

〒375-0024
藤岡市藤岡664番地5

TEL・FAX
0274-23-2564

歓フォアンときらら

理事長　小林優子

歓フォアンは任意団体として設立してから二〇年、法人として設立してから現在のNPO法人に始まり介護保険制度が導入されて介護保険事業が始まる前は、食事作りや入浴介助など生活全般の困難さを抱えた皆さんの利用者の方々を対象にしてきました。

九年前、今のほあんの家デイサービスに加え、放課後等デイサービスきらら、毎年恒例になったきりの祭りになっているこの際に、日頃から地域の皆さんに支えられながら活動してきたことを感謝の気持ちとして表したいと思い、地域の皆さんを招いて感謝祭を開催しました。

感謝祭は、ほあんの家主催の節分の豆まきに子供達が参加したり、子供達の作った作品を展示したり、模擬店を出したりと、地域の皆さんと交流することができました。

今年は、ほあんの家の利用者さんにもお手伝いしていただき、子供達が大変喜んでいました。

子供達が「歌のまつりに初めて参加」することになり、歌の練習をしていると聞き、プレゼントしたいと思いました。

ほあんの家の利用者さんにもお伝えすると、プレゼントを作ってくださったり、歌や楽器演奏で盛り上がりましたケーキを食べました。

★クリスマス会★　十二月二十一日

サンタ役は子供達に選ばれた先生方にもご協力をいただき、歌や楽器演奏で盛り上がりました。

これからもほあんの家ときららのコラボレーションをどうぞご期待下さい！

これこそ！私が、歓フォアンがめざしている地域創りを目指して行きたいと痛感しております。

フォアンがめざしているものではないか？と思い描いて同じ空間で共に生活をしたいスタイルだと思いました。そしてほあんの家のいじった子供かからお年寄りまで同じ空間で共に生活をしたいという皆さん、きららの子供達、そして何より、そこに関わる全ての人達が幸せで笑顔あふれるようなごく当たり前のこと

【今期の報告】

★冬休みのある日★　十二月二十七日

絶好のお出かけ日よりとなったこの日、子どもたちは2チームに分かれてサッカーの試合を楽しみました。

広い公園、走ったり応援したりと熱心に参加してくれました。

湯船につかりながらの試合（？）をあちらこちらで繰り広げられました。

プレイルームでは、ボールプールで遊んだり、ブランコに乗ったりと、思い思いに楽しんでいました。

★暮れの大掃除★　十二月二十八日

年末恒例の子供達中心の大掃除をしました。

指導員に指示されるまえに自分担当の場所を決めたり、掃除の段取りや役割分担を話し合ったりと、自分たちで掃除をすすめていました。

ロッカーの掃除までしたので不要なものがほとんどなくスッキリしました。

掃除はしたくないと思っていた子どもたちも、掃除をしてみると意外と楽しかったようです。

ちらかしていたのは子どもたちだったので、指導員だった私たちも反省しました。

一番熱心に掃除をしていたのは子どもたちだったかもしれません。

笑

★初詣★　一月四日

今年も貫前神社に初詣をしました。

神社の富岡真弓宮司様に剣にて手をあわせ、今年一年の健康と安全をお祈りしました。

帰りに大きなメンコを購入し、自分で選び好きなものを食べました。

とても満足そうでした。

★きららの豆まき★　二月一日

毎年、豆まきが楽しみで、鬼役をしたがる子どもたちが多く、今年も鬼役を決めるのに苦労しました。

逃げる鬼達を追いかけて豆まきをしました。

豆の代わりにネリケシやチョコなどを投げました。

恒例の鬼のお面作りでは、鬼の顔を思い思いに作成していました。

今年の鬼は優しい鬼が多かったようです。

志願した子どもたちは、鬼役を満喫できたようです。

豆まきの後は、マメ茶をいただきました。

★卒業生S君来所★　二月二十八日

昨年卒業したS君が遊びに来てくれました。

S君は、卒業後、自分の進路に向かって頑張っているようです。

S君の姿を見て、後輩達も頑張ろうと思ったり、先輩に会えて嬉しかったりと、S君が来所したことで、後輩達にとっても良い刺激になったようです。

S君、また遊びに来てください！

★ほあんの家で豆まき★　二月二日

ほあんの家さんの利用者さんと、ほあんの家の利用者さんとふれあい参加させていただきました。

ちょっとした本格的な鬼のお面を作ったり、写真を撮ったりしました。

怖がるかと思ったら友好的に歓迎してくださいました。

マメ茶の手作りまでしていただきました。

利用者さんのアイデアがいっぱいで、利用者さんの笑顔がかわいかったです。

【制作作品紹介】

ほあんの家を訪ねた時利用者さんたちが作った大きな「ちぎり絵」が飾ってありました。それに刺激を受けてきらでも季節の絵を作ってみることにしました。ただひたすらに紙をちぎる子、ノリだらけになりながら貼ってくれる子等々、個性に応じた作業に参加、制作してくれました。（職員もこだわりをもってちょっとだけお手伝いをして楽しんでみました。）そんな作品の一部を紹介します。

【歌のじかん】

「自由に音楽を楽しもう！」と始めた「歌のじかん」みんな大好きですが始まる前からジッと座って待っています。ほあん祭りにも先生と一緒に参加、発表しました。

★先生から・・・

月二回「歌のじかん」として、子どもたちと一緒に歌い、時には身振り手振り付きのダンスなども交え、各々が身体全体で表現をして笑顔で音を楽しむ」を大切にし、子ども同士が仲間意識を持ちながらも、いかに個人の持つリズム感や感性を大切にできるかを念頭にお帰りの前の楽しいひとときを過ごしていきます。

篠田真由美先生

以前から比べると子どもたちは歌・楽器・手拍子・足拍子など身体表現の組み合わせが一度にたくさんできるようになっているとても素敵な子どもたちと過ごす時間は最高に幸せです。

【きららへの賜物】

今期も子どもたちへの激励と応援をこめたお菓子・飲み物、スポーツ用品など多くの贈物が届けられました。現在それを活用して子ども達も新たな能力を発揮し始めております。今回、三人の方のメッセージをいただいておりますのでそれをご紹介させていただきます感謝の意を表させていただきます

★野球グローブ（T・I氏）

野球の練習をしている子供達の姿を見て、役に立てればと思い、息子達の使っていたグローブを提供させていただきました。

「頑張れ！子供達」

★電子ピアノ（塚本 知子さん）

電子ピアノを買って十二年位経ちます。大人になってピアノを習う機会を得て二～三年楽しく教わりましたが、引っ越しを機に処分しようと考えていた所、何と！きららのこどもたちが楽しくピアノを使ってくれるなら最高にうれしいです。

【竹トンボ（ほあんの利用者さん）】

（お写真はご本人のご了解を得て記載しました）

「豆まきに来てた子どもたちが喜べば・・・」とても喜んで飛ばして楽しんでいたそうですよ。」と聞き、こちらもまたうれしくなりました笑笑

引田 傅次郎氏

【きらら職員変動】

きらら発足当初から勤務していただいたパート三名（塚越さん・立川さん）が昨年退職されました。在職中はお二人に対して多大なご支援・ご協力を賜り誠にありがとうございました。退職されたお二人に代わって新しく三名の方に指導員として、昨年より参加していただいております。新人とはいえ、経験豊富な頼りになるメンバーです。これからもご支援・ご鞭撻をよろしくお願い致します。

【新スタッフ紹介】

★岡山 亮子さん

木曜日だけの勤務ですが、活動を通して子ども達から教えてもらう事も多く、たくさんのパワーをもらって楽しく過ごしています。元気あふれる子ども達と一緒にこれからも頑張りたいと思いますのでよろしくお願いします。

★飯野 さち子さん

昨年7月から、元気な子ども達にパワーをもらい過ごしています。きららの印象は・・・昔、いとこ達と楽しく遊んだ感じで「実家！」という感じでしょうか・・・きららのみんなが安全に寛いで過ごし、毎日笑顔で家庭に帰れるよう支援します。

★鈴木 厚子さん

昨年7月からお世話になっています。きららの子ども達は、とてもかわいいです。また会いたくなります。一緒にいると心が豊かになり、とても嬉しいです。今後ともよろしくお願い致します。

【退職のお知らせ】

歓（フォアン）の設立当初から尽力され、また、きらら開所時から礎を築いて下さった新島都氏が二月いっぱいで退職されました。大変残念ですが「今後はきららの卒業生ともかかわれる事業を立ち上げたい」という強い同氏の熱意を感じ、新スタートを受け入れ、応援することに致しました。長い間お疲れさまでした。そしてありがとうございました。

送別会では、最後まで手を抜かず、子供達に真剣に向かい合っておいでした。子供達もそれに応え、人間アーチを作って送り出すことを提案し実行することができました。

きららのみんな、元気で笑顔いっぱいの毎日でしょうね！みんなと過ごした日々、年は取らず、きらきら気持ちは若返り、新しいことに挑戦し成長する姿を見せてくれるみんなに会えることも嬉しみでした。

これからもみんなの成長を信じ、社会人になって自立していく時にお手伝いできる日がくることを楽しみにしています。

新島 都

追記 群馬県に届出をしたきららの自己評価表「保護者向け」と「事業者向け」を添付致しました。「評価」表「はきららのホームページからもごらんいただけます。）